

祝 ときなんの快拳!

●陸上男子 市総合優勝 ●ソフト男子 東ブロック3位

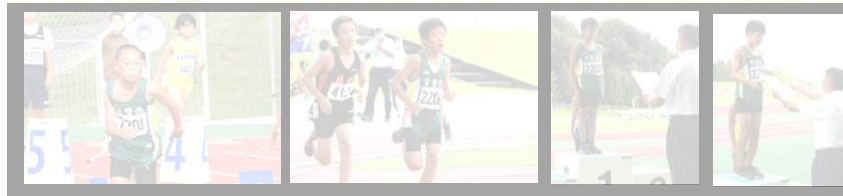


2021. 9.28-29 球技大会、陸上大会



発行所
常磐南小学校
電話 46-2005
FAX 46-2048
— 第28号 —
2022.10.31

子どもたちのがんばりに、最後まで声援を頂きました保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。



「快拳」と言ってもいいだろう。本校の陸上部男子が市の総合優勝に輝いた。さらにソフトボール部は東ブロック3位入賞。バレー部は2回戦に進み、3セット目にもつれ込む惜敗。

今年のキッズデイズは、子どもたちの活躍に学校が沸いた。結果だけではない。手に汗を握る熱戦に、子どもたちの成長と限りない可能性を見ることができたのだ。

勝負に挑む真剣な姿はそれだけで

2022. 10. 31

63%

量から質への転換

校長 都筑 祐一

簡単なことではない。果たして、すべての部活動を維持するための人材、資金は準備できるのか。突然だが、こんな調査を試みた。本校の子どもたちが学校外でスポーツの習い事をどの程度行っているのか。対象は4年生から6年生の98人。こんな結果が出た。

水泳19 テニス10 サッカー9 野球6
ソフト6 バレー4 陸上3 ダンス3
太鼓3 体操3 空手3 ラグビー2
剣道2 バスケ1 乗馬1 新体操1
フットサル1 バドミントン1

* 調査実施10月20日 単位(心) 複数参加有

習い事の目的はそれぞれとして、18種目に62人。63%の子どもたちが該当した。正直、この結果に驚いたが、子どもたちを取り巻くスポーツ環境が広がってきたことは確かだろう。

量から質への転換。今、学校の部活動は、2年越しでこの課題と向き合っている。練習時間の短縮をどう補うのか。部活動の意義を確認しつつ試行錯誤が続いている。

近い将来、学校の部活動はどうなっているのか。スポーツ庁が描く地域一体型の部活動へと舵を切ることでできるのかどうか。

できれば子どもたちが望む多様な部活動に自由に参加できる社会になってほしい。私はそう願っているが。

